

学習コンテンツ 利用の手引き

コンテンツタイトル コンピュータウイルスについて知ろう

対象学年 小学校高学年

学習のねらい

- ・ コンピュータウイルスの特徴と対策法を知り，感染に気をつけようという意識を高める。

学校で指導する際の学習展開例

	児童の学習活動とスライド等の番号	指導上の留意点
導 入	○スライド1～4 ・ 実際にウイルスが侵入したコンピュータを見て，その特徴を知る。 ・ 感想を話し，その他の特徴も合わせて知ることによって問題意識をもつ。	・ 実際の映像を見せることでウイルスについて考えやすくする。 ・ 感染した場合，コンピュータやネットワークに大変な被害が及ぶことを確認し問題意識を喚起する。
展 開	○スライド5～13 ・ 自分がコンピュータを扱う場面を想起し，クイズに答えながらどんなときに感染してしまうのかを考える。 ○スライド14 ・ 実際に感染してしまうと，どれくらい困るのかを知る。 ○スライド15 ・ 感染を未然に防ぐための具体的な手立てを知る。	・ 「ダウンロード」などの用語の意味については，児童の実態に応じて説明を加えながら進める。 ・ 実際に感染してしまった人の生の声を知ることによって，危機感を高める。 ・ 場合によってはインターネットの関連サイト等で，ウイルス対策ソフトにはどのようなものがあるのかを閲覧させる。
ま と め	・ 普段，実際にコンピュータを使う場面を想起して，自分が気をつけなければならないことを発表する。	・ 児童全員の思いを確認するための手段として，ワークシートなどを準備してそれぞれの思いを記入させる。

コンテンツ利用に必要な環境

- パワーポイント

学習コンテンツの解説

児童が学校、家庭、公共施設でコンピュータに触れる機会は徐々に増えてきている。そしてそれらのコンピュータのほとんどが、外部の世界とネットによってつながっているというのが現状である。したがって、正しい知識をもって扱わないと、コンピュータウイルスの侵入を許してしまう可能性が常にあるということになる。そこで、具体的に児童が遭遇しそうな場面を想定し、クイズ形式で答えを考えながら、正しいネット社会の歩き方を身に付けていくことをねらいとしている。

<p>ウイルスが侵入した コンピュータを見てみよう</p> 			
<p>好きなサイトのホームページを見ていたときに あなたはこんな表示を見つけました。</p> <p>最新のゲーム情報をゲットしたい方は いますぐここをクリック！</p> <table border="1"><tr><td><p>A 最新情報をゲット するためには 必要なので クリックする。</p><p>クリック</p></td><td><p>B これはあやしい… どうだかって クリックせず 無視する。</p><p>クリック</p></td></tr></table>	<p>A 最新情報をゲット するためには 必要なので クリックする。</p> <p>クリック</p>	<p>B これはあやしい… どうだかって クリックせず 無視する。</p> <p>クリック</p>	
<p>A 最新情報をゲット するためには 必要なので クリックする。</p> <p>クリック</p>	<p>B これはあやしい… どうだかって クリックせず 無視する。</p> <p>クリック</p>		
<p>さて、あなたは どうしますか？</p> <table border="1"><tr><td><p>A 何があてん付 されてきたのか わからないけど 興味があるので 開いてみる。</p><p>クリック</p></td><td><p>B メールに、この 添付ファイルは 安全だと言って あったので 開いてみる。</p><p>クリック</p></td><td><p>C 何かわからない てん付ファイル は開かずに 友達にまず 確認してみる。</p><p>クリック</p></td></tr></table>	<p>A 何があてん付 されてきたのか わからないけど 興味があるので 開いてみる。</p> <p>クリック</p>	<p>B メールに、この 添付ファイルは 安全だと言って あったので 開いてみる。</p> <p>クリック</p>	<p>C 何かわからない てん付ファイル は開かずに 友達にまず 確認してみる。</p> <p>クリック</p>
<p>A 何があてん付 されてきたのか わからないけど 興味があるので 開いてみる。</p> <p>クリック</p>	<p>B メールに、この 添付ファイルは 安全だと言って あったので 開いてみる。</p> <p>クリック</p>	<p>C 何かわからない てん付ファイル は開かずに 友達にまず 確認してみる。</p> <p>クリック</p>	
<p>被害者の声</p> <p>その日に来たメールは全部で5通。そのうちの1通には件名がなく、添付ファイルを示すクリップが表示されていた。送信者のアドレスは以前届いた友達のものと同じであった。「この前のメールで忘れたことを、追加して送ってきたんだ。何だろう？」</p> <p>私は友達からのメールだという気持ちから、うっかりとその添付ファイルを開いてしまったのだ。</p> <p>しかし実はこの「知り合いからのメール」に添付されてきたものは友達のコンピュータに感染したウイルスが勝手に送りつけてきたものだった。</p> <p>私は一瞬の気のゆるみから、大事なコンピュータをウイルスに感染させてしまった。</p>			

※ボタンをクリックすると、実際にコンピュータウイルスに侵され、動作不能になっている画面が表示されます。

実際の発問例

自分の好きなゲームのサイトで、こんな表示を見つけました。あなたならどうする？自分ならこうすると思うボタンをクリックしてみよう。

※ボタンをクリックすると、その選択に対するコメントが表示される場面にリンクされます。

実際の発問例

友達からこんな添付ファイル付きのメールが送られてきたとします。あなたならどうする？自分ならこうすると思うボタンをクリックしてみよう。

※ボタンをクリックすると、その選択に対するコメントが表示される場面にリンクされます。

実際に、コンピュータウイルスの被害を受けた人の声を聞くことで、小さな気の緩みから大きな被害を被ってしまうネット社会の危険な現状を知らせる。

参考文献等

情報機器と情報社会のしくみ素材集

<http://kyoiku-gakka.u-sacred-heart.ac.jp/jyouhou-kiki/index.html>